

国際交流協会ニュース

— Ichihara International Association —



2023年3月20日 発行 市原市国際交流協会
〒290-8501 市原市国分寺台中央1-1-1 市原市役所 観光・国際交流課内
TEL 0436-23-9866 FAX 0436-21-0332
e-mail: iia@city.ichihara.lg.jp
ホームページアドレス <https://iia-ichihara.org/>



こくさいこうりゅう にほんご
国際交流フェスティバル日本語スピーチ



しゅうねん きねん さくぶん ひょうしょうしき
30周年記念ポスター・作文コンクール表彰式



こくさいこうりゅう みんなぞくぶよう
国際交流フェスティバル 民族舞踊



こくさいこうりゅう にほんぶよう
国際交流フェスティバル 日本舞踊

いちはら し こくさいこうりゅうきょうかい そうりつ しゅうねん きねんしきてん
市原市国際交流協会 創立30周年記念式典

こくさいこうりゅう
& 国際交流フェスティバル2022.11.20

そうりつ しゅうねん きねんさくぶん ひょうしょうさくひん
創立30周年記念作文コンクール表彰作品

■I.I.A.レポート かつどうほうこく
活動報告

市原市国際交流協会

2022.11.20

創立30周年記念式典 & 国際交流フェスティバル



市原市国際交流協会創立30周年記念式典
令和4年度 市原市国際交流フェスティバル
主催：市原市国際交流協会 後援：市原市



小出市長祝辞

クレーキングなイベントとなった。
当日は記念式典に続き、コロナ禍により中断していた国際交流フェスティバルが開催され、工夫を凝らしたステージパフォーマンス、各部会展示が披露された。

ステージパフォーマンスは空想和太鼓・打雅獅屋による和太鼓演奏、恵美弥の会による日本舞踊、フィリピン3島の民族舞踊、三浦明珠さんの台湾・中国の歌、総務部会によるクイズ、日本語教室に通う生徒さん7名による日本語スピーチがその内容であった。最後に行われた日本語スピーチは慣れない日本に住む在住外国人生徒がそれぞれの体験談を語る感動の発表となった。

場内展示は日本語教室、姉妹都市、交流、ふれあいサロン、総務の各部会が日頃の活動を紹介する内容であった。また総務部会は記念式典に合わせて30周年特集号を発行し、来場者に配布した。

飲食を伴わない方式であったこと等からやや不慣れた進行となりタイムテーブルが狂ったこと、午後から雨となり駐車場掛が慌てた場面もあったが、市原市国際交流協会の総力を上げたイベントは午後4時半無事終了した。



市原市国際交流協会(IIA)の創立30周年記念式典は2022年11月20日午後1時半より五井グランドホテルに於いて開催された。

IIA創立は1991年のことでコロナ禍により1年遅れの式典となった。

勇壮な触れ太鼓により始まった式典は、IIA山崎会長挨拶、小出市原市長を始めとする来賓祝辞、列席の来賓紹介、祝電披露と続き、30周年記念として行われたポスター・作文受賞者発表、記念品贈呈、

恵美弥の会による日本舞踊が披露され、和やかな雰囲気の中、2時過ぎ記念式典は終了した。

今回行われたポスター・作文のコンクールは6点が表彰され、会場にも展示されたが、参加者からも注目されエポッ



表彰作品の前で記念撮影

各部会展示



日本語教室



姉妹都市



交流



ふれあいサロン



総務

創立30周年記念作文コンクール表彰作品

いちほら し こくさいこうりゅうきょうかいしやう
市原市国際交流協会賞

がいこく ひと こころ つう あ
「外国の人と心で通じ合っていくために」

いちほら しりつうしゅうしやうがっこう ろくねん すずき ののか
市原市立牛久小学校 六年 鈴木 希果

私は、外国の人との関わり方について感じていることがあります。それは、日本人は、外国の人に対して苦手意識をもってしまっているのではないかとことです。それが私が電車に乗って駅に行った時に感じました。私が電車から降りると降りたホームに外国の人が家族で座っていました。私はその家族を、日本人はさげてるように感じました。なぜ、そう見えたのか家で考えてみることにしました。そして、私の出した答えは外国語を話せる日本人が少ないので、何か言われたら困るとい思いから自然とさげているのではないかとことです。外国語をある程度話せる人であれば、さげる必要はありません。一方、苦手意識をもって人には、少し怖いと思います。しかし、そんなに怖がる必要はないと私は思います。なぜなら、私も小さい頃に同じような経験をしたことがあるからです。

私の母の友達は国際結婚をしました。その家に子どもが生まれたので遊びに行ったことがあります。そのお父さんはスペイン人で、スペインの料理を作ってくれました。食べ終わったあと、そのお父さんと赤ちゃんと私で遊ぶことになりました。私はもちろんスペイン語は話せません。しかし、そのお父さんは「これは日本語で何と言うの」「これは何」と、どんどん私に話しかけてきました。どうしようと思いましたが、私も小さいながら一生懸命答えると、そのお父さんにも伝わり喜んでもらうことができました。その時、とても仲よくなれた気がしました。この経験を通して、外国語が話せないから話さないのではなく、自分に自信をもってチャレンジすることが大切だということに気付きました。これからは世界中の人と言葉だけではなく、心で通じ合っていきたいと思っています。

いちほら し こくさいこうりゅうきょうかいしやう
市原市国際交流協会会長賞

つう こうりゅう
「スポーツを通じた交流」

いちほら しりつさんわ ちゅうがっこう さんねん つみた かりん
市原市立三和中学校 三年 積田 かりん

私が思うのぞましい国際交流は、留学やボランティア活動など、様々なことがあるが一番はスポーツを通じた交流だと思う。なぜかというスポーツはどの年代でもできるし、たとえ国籍や人種、言語、文化などが違って一緒に汗を流して協力しあったり、正々堂々と競い合ったりすることで共感が生まれ、楽しさやうれしさといったことができると思うからだ。スポーツを通じた交流では、様々な国の選手やコーチをうけいれ、また日本から派遣して試合やトレーニングなどを実施することで交流を行えるため、様々な世界交流が行える。

スポーツだけでなく、留学、ボランティア活動、国際交流イベントなどでたくさんの方と交流をして、多様な価値観、文化、言語などを学んだり、日本のよさを再認識できたりするなど、国際交流には様々なメリットがあると思う。しかし逆にお金がかかる。価値観の違いでのストレスなどデメリットもあるが、それよりも大切なものを手にいれることができると思う。

このようなことから、私はスポーツを通じた国際交流をはじめ、留学やボランティア活動など、笑顔で個人々が繋がれる、そんな世界交流がのぞましい世界交流だと思う。

そうりつ しゅうねん き ねんがっこうひょうしやう
創立30周年記念学校表彰

とも こ
「わたしの友だちはみち子ちゃん」

いちほら しりつわかみやしやうがっこう さんねん こばし りの
市原市立若宮小学校 三年 小林 凜乃

わたしは、みち子ちゃんと友だちです。みち子ちゃんはフィリピン人の女の子です。去年若宮小に転入してきました。とてもやさしい子で、日本語はしゃべることができません。でもみち子ちゃんは学校に来たときは少しづつだけ、がんばっています。だからわたしは、がんばっているみち子ちゃんを見て友だちになりたいと思いました。それから日本人だけでなく外国人ともどんどん友だちになってみたいと思いました。みち子ちゃんは、日本語が話せないから、わからないことだらけです。だから、みち子ちゃんが困っている時にはやさしく声をかけるようにしています。そうしたら、みち子ちゃんは笑顔で「ありがとう」と言ってくれ

ます。すると、わたしもうれしい気持ちになります。みち子ちゃんを助けてあげてよかったです。みち子ちゃんからわたしに声をかけてくることはありません。きっとだれに声をかけたらいのか、わからないのだと思います。

でも、いじめゼロ集会で「クラスでいばんやさしい友だちですか？」のアンケートにみち子ちゃんはわたしをえらんでくれました。わたしはびっくりしたけれどとてもうれしかったです。

これからも、もっとみち子ちゃんの手助けをして、みち子ちゃんが安心して学校生活を送ることができるようにしてあげたいです。

インターナショナルフレンド シップクラブ

「チャレンジ韓国語」

7月～ 交流部会

インターナショナルフレンドシップクラブの中で、参加者の国の言葉で挨拶ができたのもっと距離が縮まるのではと思いい、声を掛けたところ希望者がいたので韓国語の講師をしているメンバーにお願いして、韓国語を手始めに開始しました。と取り敢えず7月から第2・4土曜日午後1時から10回コースで実施しています。最初は母音を覚え、今は子音を始めました。ハンゲル文字は全くなじみの無い文字なので戸惑いますが、授業の始めに復習をして終わりの方で短い会話の「アンニョンハセヨ～こんにちは」、「アンニョンヒ カセヨ～さようなら」自己紹介など文字にこだわると難しくなるので音で覚えます。無理のないように続くようであれば次の段階に進む予定です。



国際交流ひろば来て!見て! 話そう! 「ハロウィンって」何 22.10.23 交流部会

3年ぶりの国際交流ひろばを夢ホールにて開催。コロナ禍の為、各国料理の試食は無し、少し寂しい気もしたが久しぶりのメンバーに会い皆笑顔で挨拶。出席参加は9カ国：フィリピン、タイ、インドネシア、ネパール、中国、台湾、日本、ペルー、ブラジル。それぞれの国のクッキー、ケーキ、揚げ物や手作り作品、物産品などをブースに並べ国の紹介と共に販売。ステージではタイの民族舞踊、インド演奏や歌、台湾出身のお母さんを持つ子どもたちのダンス、また特別出演の

たてやま にんぎょうげき 館山の人形劇など。メーンはハロウィンコスチュームコンテストであったがPRが行き届かず3名の参加、1名は待ちくたびれて棄権。75歳のカボチャマンと可愛い小学生の2人、コスチュームは1000円以内で手作りが条件、甲乙つけがたく2りとも会長、副会長から賞品を貰い映える第1回のコンテストとなりました。参加者、出演者、スタッフ合わせ100名弱で会場に楽しげな声が響いて楽しく過ごせたのではと思います。



2022年度日本語教室バス研修旅行 日本語教室部会 櫻井 二郎 「成田山新勝寺と国立歴史民俗博物館(佐倉市)へ」 22.10.22



10月2日(日)朝8:10 市原市役所を出発場所とし、ボランティア3名、学習者6名、バス2台が集まる。1台は姉崎公民館の集合場所へ、もう1台は五井駅西口へ行き、八幡公民館前で合流し、大人24名、子供7名が新勝寺へと向かう。コロナ感染予防対策として、座席間距離の確保、マスクの着用、乗車時の手指消毒の励行に注意して10:20に成田山新勝寺へ到着した。お寺の縁起は真言宗智山派、朱雀天皇

の密勅を受け、寛朝大僧正が京都の高雄山神護寺より、空海が敬刻開眼したご本尊不動明王と共に関東に下り、天慶3年(940)に開山したと伝えられている。総門と大本堂前で写真を撮り、参拝する。その後、鰻を食し境内を散策する班(5名)と本堂先にある三重塔、釈迦堂、額堂、光明堂、王殿、平和大塔を参拝し、成田山公園で昼食をとる班(26名)に分かれた。公園班は、食後、子供達が大喜びした大きな鯉や亀のいる池を巡り、バスに戻り鰻班と一緒に13:00に新勝寺を後にする。13:30に国立歴史民俗博物館に着き、写真を撮り、入館し自由行動とした。館内は、第一展示室(37000年前～10世紀)第2(平安～安土桃山)第3(江戸)第4民族(祭りや妖怪、人生儀礼、恐れと

祈り、暮らしと技)第5(19世紀後半～1920年代)第66(1930年代～1970年代)と有る。各時代の着ている物、生活、文化等が本物、模型で展示され詳細な説明もあり、深い知識も得られた。学習者は日本を学びたい意欲も強く話が弾み、おとな、子どもに関係なく仲良くなりました。15:30に博物館より帰路につき、2台のバスは、16:50と17:10に無事市役所へ戻りました。天気も良く心身共に暖かい1日でした。

お詫びと訂正
国際交流協会ニュース第82号に於いて市原市長 小出譲治氏のお名前を誤って「小出讓二」と記載してしまいました。茲に訂正すると共に謹んでお詫び申し上げます。